



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
 お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 助け合って暮らしてゆける町へ
- わが町の消防団
- 日曜大エクラブ「ゆたか」始動
- 水戸街道物語 豊町の由来

助け合って暮らしてゆける町へ

～ 地域の「支えあい」を考える ～

高齢化、核家族化が進み、ゴミ出しや庭の草とりといった作業に困っている高齢者が増えています。介護の制度やサービスでは届かない、ちょっとした手助け、これを地域の身近な人たちで見守ったり、サポートしてゆく、これが「支えあい活動」です。各地の事例なども見ながら、私たちの町の「支えあい」について考えてみましょう。

●あなたの困りごとはなに？



一人暮らしだったり、足腰が弱っている人にとっては、ゴミをゴミステーションに運んだり、切れた電球をとり替えるといった、ち

よっとした作業も困難に。身近な人に声をかけて、気軽にサポートしてもらえれば、生活も快適になります。柏市社会福祉協議会によると、柏市内のコミュニティエリアや町会、自治会などの助け合いサービス団体（NPO法人やボランティア団体など）は約 50（平成 29 年 8 月現在）。支援内容やサービス料の有無などはさまざまです。たとえば、近隣では「増尾地域見守り・助け合い隊」の場合、支援内容はゴミ出し、草とり、剪定、掃除、買い物、洗濯、話相手、外出付添など多岐にわたり、利用料は 1 時間 500 円（1 人につき）。利用している 70

代の男性は「足が不自由なので、通院や買い物に出かける時、車イスを利用していますが、付き添いの人を探すのが大変でした。助け合い隊を利用すると地元の人がついてくれて、ありがたく思っています」と語っています。

《困りごと》

- 体調が悪くてゴミ出しがとてつらい
- 足も悪くなって買物や食事の支度ができない
- 足腰が悪くなって掃除や洗濯ができない
- 庭の草やゴミ、植木鉢の整理がなかなかできなかった
- 病院に行きたい

●無償・有償・支援内容もいろいろ

このように無償から有償まで、有償の場合も 1 回 100 円から 1 時間 1,000 円以上など、活動内容とともにさまざま。さいきんは無償だと協



力者に気を使うし、気兼ねなく利用できるように 1 コインを取り入れている団体もあるようです。

●いま、組織づくりを進めています



東町会は未加入者を含め 2,500 世帯を超える大きな町会です。

住民同士で支え合い、「介護難民」を出さないように

するためにも、サポート団体の設立が急務です。富里地域の地域支えあい推進員をつとめる岩佐祐義さん（富里）や包括支援センターの皆さんの協力で、いま、暮らしをサポートする独立した助け合いのNPO法人の設立を目指しています。どんな支援が望まれているのか、支援者をどう集めてゆくか、などリサーチやお知らせ、他地区の実例の紹介など、「東風」紙上で随時掲載してゆく予定です。

《支援活動の例》

- ・見守り
- ・ゴミ出し
- ・布団干し
- ・洗濯
- ・掃除
- ・買い物
- ・電球の交換
- ・草とり
- ・剪定
- ・柵作りなど日曜大工
- ・家具の移動
- ・話相手
- ・病院や散歩の付添
- ・調理

トピックス

わが町の消防団

第 2 方面第 8 分団 (豊町)



6 月 3 日 (日) に大堀川レクリエーション公園で消防操法大会が開催されました。第 2 方面第 8 分団は小型ポンプの部で参加し、22 チーム中 8 位となりました。



●褒章受賞

木村祐一さん (柏市消防団副団長、中原地区青少協 会長) が平成 27 年秋の鈴木哲さん (副団長) の藍綬褒章受賞に続き、平成 30 年春の藍綬褒章を受賞しました。



●わが分団から消防団幹部、女性分団員も



柏市消防団幹部にわが分団から前述の鈴木副団長、木村副団長に続き、本年度から、穴澤正行さんが第 2 方面隊長に就任。また、町内の藤原美貴さんが柏市消防団女性分団で活躍しています。

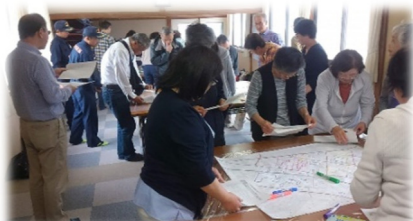


災害図上訓練

6 月 16 日 (土) : 3 区、30 日 (土) : 全体

参加者が複数のグループに分かれて、災害時に必要と思われる場所や避難経路などを地図上に記載していき、俯瞰で地域を認識する訓練です。

事前に「防災学習 DVD ビデオ『地震だ！その時どうする？』」を視聴。その後、各グループに分かれて作業実施。



町内全域の白紙地図に町会範囲の確認、主要道路、狭小道路、行止まり道路を記入。病院、避難できそうな場所などを色分けしたシールで確認。危険な場所などの情報を追記してゆき、防災地図を完成。最後に、想定課題を各グループで話し合い、発表し終了。

参加者からは「町会内のこと、危険な場所など、いざとなった場合の避難経路など改めて認識した。何となく歩くのではなく防災といった



観点で周囲を観察したい」との感想もありました。

消防団の方にも参加していただきました。

お知らせ

グラウンドゴルフ大会の開催

- ・ 日時 : 9 月 22 日 (土) 9:00~11:00 (集合 8:30)
- ※雨天の場合、9 月 23 日 (日)
- ・ 場所 : 低見台子供遊び場
- ・ 定員 : 40 名 (先着順)
- ・ 参加費 : 無料
- ・ 申込 : 氏名・年齢・電話番号を明記し 明寿会 田中達雄会長へ
電話 : 080-2677-1787
FAX : 04-7174-5209

町会では、明寿会、子供会の協力で、町内グラウンドゴルフ大会を開催します。対象は小学生と大人。未経験の方もベテランが指導するので安心。用具も用意します。健康とふれあいのためにも、ぜひ参加ください。運動のできる服装で！



町内全域でゴミゼロ運動実施

住民の力で町をきれいに！

昭和 57 年度から始まり、今回で 37 回目となったゴミゼロ運動が 5 月 27 日に柏市全域で行われ、当町会からも大人 117 人、子供 98 人（内、豊町東子供会 84



人の粗大ゴミもリヤカーを使って回収。計 39 袋のゴミを収集することが出来ました。



ゴミゼロの後は BBQ に舌鼓！

日曜大工クラブのデモも



午後からは、こちらも恒例となったゴミゼロ運動の慰労と町内の親睦を兼ねたバーベキュー

大会が低見台公園で行われ、ゴミゼロ参加者ら町内から多くの方が訪れました。成年部の皆さんが準備したバーベキュー料理を味わい、大人も子供も一緒に楽しく会話しながらふれあいのひとときを過ごしました。

会場の一面では、6 月から始まる日曜大工クラブのデモンストレーションも開催。講師役の職人さんにノコギリや金づちといった工具の使い方の説明を受けながら、参加者も実際に木材を切ったりクギを打つ作業を通してその難しさと面白さを体験していました。



日曜大工クラブ「ゆたか」始動！

非常時にも役立つ技術を楽しく学べます

6 月 17 日、低見台公園で今年度新設された日曜大工クラブ「ゆたか」の第 1 回目のクラブ活動が行われました。その活動の様様や参加者の声などをレポートします。

このクラブでは各回ごとに 1 つのお題を作り

上げるのですが、初回のお題は「作業台」。今後のクラブ活動にも役立つ道具から、自分たちで作ってしまおうという狙いです。

参加者の多くが初心者とのことでしたが、プロの職人さんによる丁寧な指導のもといざ作品作りに挑戦。新しい道具を扱う際にはその道具の知識や使い方だけでなく、危険性についても職人さんからしっかりと説明。そのうえで実際に作業を進めていくのですが、初心者には扱いの難しい電動工具の場合には職人さんのサポートを受けつつも、それぞれが自分の手で作品を仕上げていきました。



出来上がった作品を前に、前回のデモンストレーションに参加して興味を持ったという小島恵子さんは「未経験ながらもすごく興味があった。職人さんにつきっきりで教えてもらえるなんてとても贅沢な経験。自分で作った作業台は愛着もあるし、梅干しや野菜を干したり、孫が遊びに来た時の勉強机などいろいろな使い方ができそうで楽しみ」と満面の笑み。

～ 道具に触れて正しい扱い方を学ぶ ～

講師役を務めた大工歴 25 年の武藤将彦さんは「ものづくりを楽しんでもらうのはもちろん、いろいろな道具に実際に触れてもらうことも大切。扱い方を間違えると危険な道具もあるが、だからこそこのクラブを通じて安全な扱い方を覚えてもらえば、いざというときにも役に立つ」と締めくくり、最後は全員で片付けと清掃を行い第 1 回目のクラブ活動は無事終了しました。



今回は 7 月 15 日（日）の 10 時から低見台公園で開催。お題は「壁掛けの棚」です。興味のある方は、ふるさと会館玄関に置いてある申込用紙、もしくは下記メールアドレスからご連絡ください。「見学も大歓迎！」とのこと。

e-mail: hiyokko.daiku@gmail.com





●「豊町」に住んでいます



わが町に生まれ、住んでいる人に「どこに住んでいますか」と聞けば、ほとんどの人が「豊町です」と答えるようです。

正式な住所は「柏市豊四季」なのですが…

●古いが広大な「豊四季」

豊四季の地名は、明治初年の小金牧開拓後につけられた古い名称。ただ、その範囲は広く、現在の柏駅周辺の中央、中央町、明原、旭町、流山に接する富士見町、新富町、南柏、富里、緑ヶ丘、ひばりが丘など 20 いくつもの町がすべて「豊四季」でした。豊四季村、千代田村豊四季、柏町豊四季と合併などがあってもずっと続き、住居表示などをへて、たくさんの新しい町に分かれ、現在「豊四季」の字は東武線豊四季駅周辺（豊四季町会）とわたしたちの町（豊町東町会）の 2 町で存続しています。

●「証拠」はたくさんあるが…

あまりにも広がったので、初期は南北東西で分けたり、戦前は 1 区、2 区、3 区と分けられ、わが町は 2 区でした。当時の地図にも 2 区の表記があります。さらに流山境から 1 号坪～10 号坪に分けたとも。ちなみに豊町は 5 号、6 号、7 号、9 号坪でした。広い地域を先人たちも分けるのに苦労したようです。



こんな歴史があって、わが町の場合は「豊四季に住んでいる」とは言いにくい。そんな行政上の地名ではなく、生活上の地名として使われてきたのが「豊町」なのです。昭和 47 年の住居表示で現在の豊町西町会の地域が「豊町 1、2 丁目」になるまで、「豊町」が行政上の地名であったことはなく、地図にも表記はありません。でも町内各所には「証拠」が多く残っています。

旧水戸街道を路線バスが通ったのは昭和 3 年。栄自動車という会社によるものです。バス停がいつできたのかはわかりませんが、ふるさと会館近くに「豊町」、柏タクシー前にも「豊町東」のバス停があります。「新木戸」のように、地域の町

名、字名をバス停の名にしたものでしょう。

●手紙も豊町できました

昭和 21 年には「豊町町会」が誕生。昭和 42 年「豊町青年館」（現ふるさと会館）竣工。昭和 45 年常磐線の「豊町踏切」が



廃止され、「豊町踏切歩道橋」に代わっています。昭和 53 年「豊町保育園」開園。昭和 58 年柏八小子供会から独立して「豊町子供会」が発足。3 区には、「豊町第一公園」があります。このように町内の公共施設には「豊町」がつけられています。消防団第 8 分団の担当地域は現在も「豊町」です。

昭和 43 年度の「豊町町会会員名簿」では、旧水戸街道沿いの会員の住所が「豊町〇〇番地」となっています。

行政上の地名でなくても、生活上は「豊町」がふつうに使われ、手紙のやりとりも豊町と表記していたという人もいます。

生活の上では当たり前のように使われていた「豊町」ですが、いつごろ、どんないきさつでその名前がついたのか、資料などはみつからず、「昭和 10 年ごろじゃないか」という古老の話以外、思い出などの話もうかがえませんでした。お心当たりのある方には、ぜひ教えていただきたいと思います。

= 編集後記 =

●恒例の夏まつりを、8 月 17 日、18 日に豊小学校校庭で開催します。今年は、ジャズバンドの演奏など新しいイベントも計画中で、イベントスペースを作るための会場レイアウトの変更も検討しています。大人も子供も中・高生もいっしょになって、コミュニケーションの輪が広がる楽しいおまつりを目指しています。夏まつりのお知らせは「東風」の特別号として、別途お届けします●町会再編 20 周年企画として、地域の歴史や町会の歩みなどをまとめた DVD が完成しました。「わが町の歴史の声を聴く」という副題で約 40 分にまとめ、前豊小校長・池田真理子さんにナレーションをお願いしました。全世帯にお配りしますので、感想などお寄せください。

(事務局 広報部)